

クールジャパン戦略に関する文部科学省(文化庁)の取組

- 日本の魅力を効果的に活用し、海外展開やインバウンド振興を図るためには、ビジネスチャンスの発掘支援、ジャパン・ブランドの推進、地域の魅力の向上、それらを進めるための国際文化交流による対外イメージアップが必要。
- これらを長期的に持続可能なものとするためには、日本の魅力の源泉である【**基盤の強化**】や【**人材育成の強化**】を進め、それを発信すべく【**発信力の強化**】を図ることが必要。
- 文部科学省(文化庁)では、2020年オリンピック・パラリンピック東京大会に向けて魅力ある文化プログラムを全国津々浦々で展開するための取組を含め、関係省庁とも連携し、クールジャパン戦略に関する取組を一層推進していく。

基盤・人材育成の強化

【基盤の強化】

- 地域の特色ある文化芸術活動、芸術団体や劇場・音楽堂等の創造活動への支援
- 文化財の保存修理・防災対策等を支援
- 多言語化の推進による文化遺産・施設への訪日外国人受入環境の整備



瀬戸内国際芸術祭(撮影:中村脩氏)

【人材育成の強化】

- 次代の芸術家を育成するために、新進芸術家の海外研修等を支援
- 優れた伝統芸能・工芸技術の伝承者や、地域に伝わる伝統文化を継承する後継者の養成を支援
- 文化芸術活動を支える専門家(アートマネジメント人材等)の養成を支援



色絵磁器 十四代今泉今右衛門氏

発信力の強化

1. 優れた芸術文化の創造・発信の支援

- 舞台芸術や現代アート等の海外発信、海外の芸術団体との共同制作等を支援
- 「文化庁メディア芸術祭」の開催、海外メディア芸術フェスティバルへの参加、映画の国際共同制作等を支援



大地の芸術祭(新潟県十日町市)



文化庁メディア芸術祭

2. 文化遺産の国内外への発信

- 「日本遺産」の認定・発信等により、文化遺産に関する情報発信を強化

3. 地方都市からの文化発信力強化

- 文化芸術創造都市のネットワークの充実・強化、東アジア文化都市の実施

※下線の施策は文化プログラムに向けた取組と関係が深いもの

2020年の文化プログラムに向けて

<考え方> 以下のような目標の下に、文化プログラムの**育成**、**環境整備**及び**発信強化**の取組を進める。

[2020年までの目標]

○**魅力ある**文化プログラムを**全国津々浦々**で展開

→ 国内外の人々を魅了する【例:外国人が、再来日したくなる】プログラムへ2020年に向け**ブラッシュアップ**
(観光庁、外務省等の関係省庁と連携)

[2030年までの目標]

○真の『文化芸術立国』実現へ

→ 2020年を越えて、2030年には真の『文化芸術立国』を実現するとともに、さらに日本の文化を求めて来日する外国人を増加させる

<スケジュール(イメージ)>

2015年

文化プログラムに向けた準備・**プレイベント**

[現状例]

国内外での**知名度**
がない、日本語のみ
で実施

2016年

リオ大会

スポーツ・
文化・ワールド・フォー
ラム(仮称)



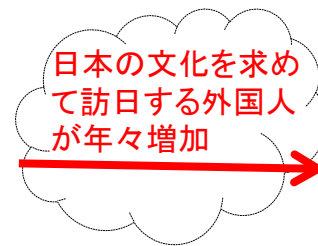
2020年

東京大会

[洗練された取組例]

多言語での海外発信や
舞台解説等、誰でも参加
体験できるイベント

文化プログラム



2030年

真の
『文化芸術立国』
実現へ